

2017年12月23-24日 将基頭山

参加メンバー：T、K、W、M(伊那山仲間)、Y(R&B)

雪山での生活訓練山行として、将基頭山へ行ってきました。本訓練のメイン対象者が体調不良で不在でしたが、予定通り実施。私としては怪我を負って以来のテント泊となるため、テント泊が出来るまでに回復した喜びを噛みしめる事が出来ました。

[1日目]

ゲート前、キャンプ場駐車場に1台車あり。その後、単独日帰りの方が2名入山。この日、我々を含め計4パーティーが入山していました。とにかく暖かく、とくかく雪が少ない。馬返しまではほとんど雪が無かったです。雪がないとテントを張るにも苦労し、水も作れないため、雪が少ない事を非常に心配しました。途中、水場である”ぶどうの泉”は水が豊富に出ており、また”野田場”は枯れていました。今回は、男性陣が水を1.8L×3人担ぎ上げてくれ、上部には雪があったため、水に困る事はなかったです。ゆっくり標高を上げ、大樽避難小屋へ到着。ソロテントなら2張り、4-5人用テントなら1張りを内部に張れる小さなスペースがある小屋でした。お昼頃にテントを張る適地である2200mに到着。時間も早く、先行者のトレースもあり、山頂に行ける時間でありましたが予定通り明日に備えることにしました。その代り、翌日予定より早く出発することにしました。新調した6-7人用ジャンボスペースが初おろしとなり、皆とても嬉しそうでした。冬装備だとやはり6人収容が限度でしょうか。

[2日目]

起床から1時間半ほどで出発。テント泊に慣れているメンバーが揃っている事もあり、出発まで非常にスムーズでした。6合目も広く、テントを張る適地でしたが、風の通り道でもありました。7合目より少し下(2450m付近)もテントを張る適地であり、先行者はここで1泊されていました。ここまでありがたいとトレースを使わせていただき、ワカンを着用し稜線へ出るまでラッセルが始まります。稜線直下でアイゼンに履き替えました。稜線は少々風がありましたが、やはり暖かい。雪山にあまり慣れていないYさんをTさんが指導しながら山頂へ。南アルプス方面が朝焼けする中、こちらはなんだかドンヨリ。でも見通しが良く、御嶽山、北アルプス等々、名立たる名峰が見えました。アツと言う間にテント場へ戻り、ササッと下山。大芝の湯で汗を流し、信濃路という信大生ご用達の定食屋さんにて皆でカツ丼を食べて帰路へ。Mさんがチャレンジしたジャンボカツ丼(米3合+カツ2枚)は激しかったです。

[コースタイム]

1日目：ゲート前(7:12発)—大樽避難小屋(11:30)—2200mテント場(12:30着)...就寝(18:00)

2日目：起床(3:30)...テント場(5:10発)—将基頭山山頂(7:25)—テント場(8:45着、撤収作業後9:10発)—ゲート前(11:00着)



